

# 魅力溢れるまち ならまち

2組 3班 白崎 梅本 比嘉 辻 道上

## 1. 目的

ならまちをより発展させるために私たち高校生がもっと魅力を知って伝えるため。

## 2. 仮説

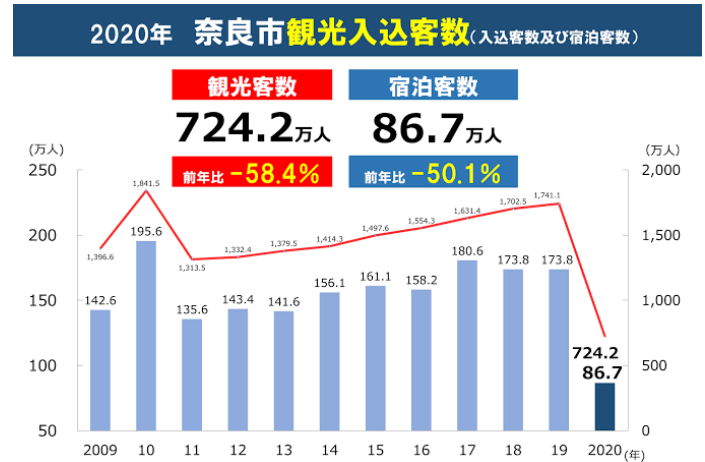
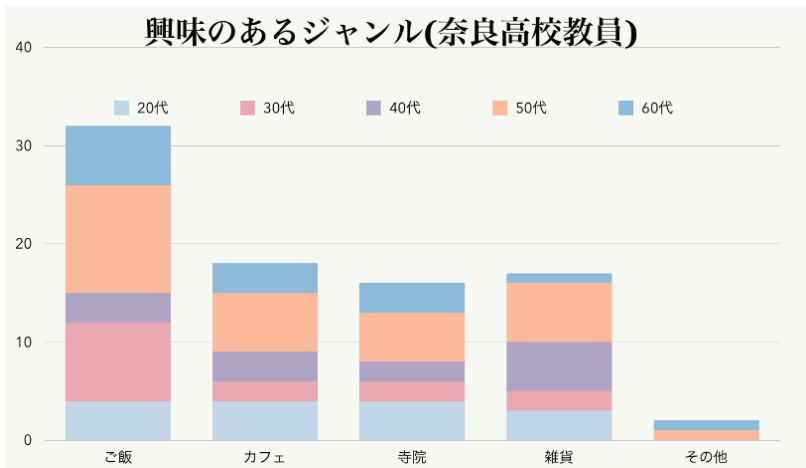
- ①ならまちは若い世代により知られているのではないか。
- ②コロナでお店の客足が減っているのではないか。

## 3. 方法

- ①インターネットで、奈良市の観光客数の推移を調べる
- ②奈良高校の先生を対象にアンケートを実施
- ③結果を集計し、それに基づいてフィールドワークを行う
- ④お店でインタビューをする
- ⑤得た情報をもとに考察をする



## 4. 結果



アンケートで人気のあった「榎舎」と「ほうせき箱」に行きました

### 榎舎

- 40代以上の夫婦に人気
- コロナ禍での客数の減少が、正倉院展がきっかけで徐々に回復
- 素材を大切に
- 新しい取り組み“榎舎のカウンター”



### ほうせき箱

- 若い層、特に女性に人気
- コロナ禍でも客数はさほど変わらず
- 予約制で座席数も減らしているため、オープン前に満席
- 氷室神社の影響でかき氷のお店が多い



## 5. 考察

高校生よりも大人のほうがならまちについて詳しかった。また、観光客数が減っている今、高校生の客層はとても重要になってくるだろう。このような点を踏まえ、多くの若者が利用しているSNSを活用することによってならまちのさらなる発展に貢献できるのではないかと考えた

アンケートにご協力いただいた先生方、ありがとうございました。  
参考文献 <https://www.city.Nara.lg.jp>